

湯本町の送湯停止 期限二日後に迫る

今更會社の不徳義的要求には 斷然承服し難しと町當局決意 町民の憤慨極度に

湯本町一萬二千町民を脅かした磐城炭礦の送湯停止問題は愈々期限の十五日が二日後に切迫したので頻りに正式

回答方の要求をしてゐるが町當局では「今更會社の不徳義的要求には斷然承服し難し」との決議文を

決定した尙ほ問題は去月二十五日表面化すると同時に會社側で代湯として廣畑坑からの送湯を申込んだが同所

前例もあるから 斷然問題化すと 湯本町態度強硬

元來湯本町の温泉並に井戸水が涸渇したのは炭礦の掘進に起因するは明瞭な事實であり同町では大正八、九年同様の問題で入山炭礦と係争し遂に勝訴して十ヶ年間年額一萬七千圓の賠償金を徴取したので是が前例に依つても斷然問題化すといきまいてゐる

東斜坑送湯 結局交渉不調

別項湯本町の送湯停止問題

は事實上温度がない上に濁水なので町では承服せず比較的 良質の 東斜坑の送湯を要求した處、是には會社側で拒絶したので遂に調停成立せず、もの別れとなつたものであつて實際の停湯處分は今月末に至り實行される見込みであるが全町民の生活を脅かす重大な地方問題だけに町民の激昂極度に達してゐる

係深く本町を搖盪として今日の大を築いた譯で町としては多大の犠牲を拂つてゐる、其れにも拘らず會社側の今回の措置は不徳義極まるもので昨年迄職員住宅が大部分町にありつたのが先日濱崎労働課長等を初め殆んど町外に移轉させてしまつたのは明かに今日あるを計畫したもので會社側の態度は極めて不純である

農事指針編纂 石城郡農會では同會並に中堅農民養成講習會編纂「農事指針」を郡内一般農家に實費二十錢で頒つこととなつた

未納を整理 小川江組合で

石城郡小川江普通水利組合では昭和五年度の豫算高八千八百八十九圓を賦課したるに對し不況の結果現在の未納高一千四百圓に達するので同組合では目下これが整理に努めてゐる

水産會協議 小名濱試験場

石城郡水産會では十一日午前十時より小名濱町本縣水産試験場に於いて協議會を開催各濱の代表二十餘名並に水産科を置く各小學校長及擔當教師六名が集合水産に關する重要な自活問題と教育問題につき漁業組合その他から忌憚なき意見を交換の上部としての施設を決定し午後二時閉會した

平町人事 出 生 △無題小三〇 香木次男氏二女千恵子 △仲町一七 當時川前村字五林一五 齋藤マサ子(一) △材木町五五 當時東京府下南葛飾 那小岩町鈴木慎男(二七)

死 亡 △仲町一七 當時川前村字五林一五 齋藤マサ子(一) △材木町五五 當時東京府下南葛飾 那小岩町鈴木慎男(二七)

滿鮮土産談(三) 川崎小鳥

滿州と聞くと、直ちに聯想するのは、馬賊だ、今回の旅行にも、内地の先輩知己は、これを心配して、なにくれとなく注意して呉れた、而し幸か不幸か、ツイ馬賊には面謁の光榮に浴せず、至極無事泰平に、旅行を終えて歸つて來たのである。

實を吐けば、支那とロシアが共同で經營して居る長春ハルビン間の汽車は、往復共に、少々薄氣味悪かつたが、滿鐵線は、至極泰平、寧ろ内地の汽車旅行よりは餘程安心で、呑氣だつた。

それと云ふのも、我守

備隊が、驛頭を守り、車中は我警官の取締りあるのみか、夜間は守備隊が二時間毎に、鐵道沿線を巡回して蟻一匹見免さぬ、嚴重な警備に任ずるお蔭げからである。

馬賊には逢はなかつたが、馬賊の本場だけに、其の遭難談や、襲撃談は澤山耳にした。

第一奇異に感じたのは車窓から眺めた百姓家の一角に、三寸角位への、小窓をイクツモ切つた、一見便所の如き棟の立つて居る事だ、これは馬賊の襲撃を防ぐ、いはば物見臺なのであるさうだ、少し大きな百姓家には必ず堀の四角に、此の物見臺がある。

そして、物見臺には、寝ずの番が、毎夜銃を構へて、四方八方に眼をくばつて居る。僕が或る小さな村の宿舎に、泊つた夜、ドガーン、ドガーンといふ銃聲らしい響きを聞いたので、家人に訊ねてみると、これが其の物見臺で打ち鳴らす鐵砲の音だとの事、さすれば、馬賊御入來かと思ひの外、御入來になつては困るので、豫め、嚇かしに、時々ブツ抜すのださうだ、即ち寝ずの番の、退屈しのぎに亦威を兼ねての銃聲だ。

支那人には、勿論巡查はあつても案山子同然、イザと云ふ時には、到底役に立たないので、斯くは自警的に、物見臺の必要を生じ番も、生アクビを噛み殺して、鐵砲を擲む事に

今日の話

天下の富豪鴻池さんが——と言つても、それが何代目の當主であつたかは聞き洩したが、兎に角現代の鴻池さんでないことだけは確かである、夏の一夜、南北兩新地を初め、堀江新町の花街から撰抜した藝妓と舞妓を堂島川の中洲に集め、彼女等の頭に將棋の駒に形どつた雪洞を戴かせ、一方又、川の南北兩岸に設けた橋の上には棋道の名家を陣取らせて、奇抜な人將棋の一戦を行はせた、更に、そうした催しに一段と興趣を添へるために、飛車と角は幫間が相勤め、人形のやうに可憐で美しい舞妓等は歩になつて御機嫌を取結んだといふことである。

貰つて重寶 贈つて便利な 井三の券品商 店服吳井三

外科

専門線 X 上田外科醫院 平町南町 電話二一九番

初夏のサロン 樽詰生ビールを召せ コップ一杯 十五錢

そして酔つたあとに 冷めたいアイスクリーム も御座ひます

田町サロンの 電話三五二番

磐城炭礦の坑夫が 無錢旅行を企て

空腹に耐えず途中で下車 無一物から悪心

信夫郡松川村大字石合手町高木秀松(三)は本月六日、石城郡内郷村磐城炭礦で夫として働いてゐたが嫌気がさし職を求むべく、
上京し市内を流浪中急に故郷戀しくなり十一日夕刻千葉縣松戸町まで徒歩でたどりついたが疲勞と懷中無一ぶつから悪心を起し途中貫いたため七錢で松戸驛より馬橋驛まで切符を買ひ求め同夜十一時五分發列車に乗車常磐線驛まで無賃乗越を企てたが車中空腹に堪えず高萩驛へ下車した處を

動靜調査に 十四日出港

鰹漁期を控へ魚群動靜調査の出動遅延で沿岸各漁業家をヤキモキさせてゐた縣水産試験場の磐城丸はいよ

十四日小名濱港を出港伊豆半島沖から小笠原島方面へ向け動靜調査のため出動することになつた

飛び歩く娘に 老母から搜索願

が局長に任命され近く赴任の筈

平町五丁目高橋ハツ(六)は三年前長女チヨ(七)を東京市下谷區の基下駄製造問屋に下女奉公に出したが一向仕送りも爲さず其後無斷で主家を飛出し淺草區象形町の某藝妓屋に住み込んだが間もなく行衛を斷ちしたので老母は本日平署に泣く／＼届出た

平郵便局長 後任者決定

平郵便局長は欠員中の處今回仙臺逓信局書記戸石清氏

船舶に福音 鹽屋岬の放送

八月頃に開始

昭和五年度に工事完成した石城郡豊間村鹽屋岬燈臺局

昨夜の 平窪の火車

養蠶の不仕末

石城郡平窪村字中平窪相田政吉方より昨十二日午後八時半頃出火し同家住宅一棟を全焼し九時半鎮火したが原因は養蠶時なので暖を取つた焚火の不始末らしく損害約七百圓の由

見込は安價 養蠶家氣を揉む

石城郡地方における春蠶は既記の如く繭の出廻りは早くて廿日頃になる模様だが今年の相場は政府の所謂糸價補償による日銀、正金兩行で保官して二十萬圓の生糸の内十萬圓が近く内地機業關係へ大量販賣される事になつてゐるためこれが影響により昨年比し十割見當の安値を唱へられるものと観測されてゐる、従つて取引は二十一掛に至れば

苗代の發芽は順調 成るべく地温を保つ様

成るべく地温を保つ様

石城郡農事試験分場に於ける水田苗代の發芽は順調な芽伸びを見この分では成績非常に良い見込みであり昨十二日の雨も稍氣温を低めたが大した害もなくこれから雨の日はなるべく満水して地温を保つやうにして欲しいとのことである

夫婦喧嘩の末 子を伴れて 女房の家出

女房の家出

石城郡箕輪村大字大和龜之助妻稻川いね(三)は夫婦喧嘩の末去る三月廿五日夜長女みつ(九)をつれて家出浦町の叔母の許に立寄つた



明日のラジオ

今夜は北東の風、小雨模様明日は北東の風午後北西の風に変わり天気次第によくなる

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) お話「手品になりそうな料理の實驗の二」 柚木卯馬
- 後六、三〇 英語講座「初等科」(十三) 岡倉山三郎
- 後七、〇〇 全國ニュース(官廳ニュースを含む) 河
- 北新報社ニュース(氣象通報告知事項) 番組豫告
- 後七、二五 趣味講座「方土修業」元大刀光事 鳴戸政治
- 後七、五〇 角力觸れ太鼓 大角力呼出連中
- 後八、〇〇 俚諺 淺野己代吉其他
- 後八、三〇 哥澤一、住吉二、多摩川三、夜の雨唄 哥澤芝千代、三味線 哥澤芝代
- 後八、五〇 ラヂオドラマ「喜劇能法師」市川荒次郎 外
- 後九、四〇 時報全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項
- 明日の部
- 前六、三〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立「鱈大角力呼出連中

世界旅行 今が第一行程

今が第一行程

本日午前十時頃平署へ身輕な旅行服姿の青年が訪ねたが此は愛知縣三河國上郷村の野場茂(三)君と云つて昭和三年四月から十ヶ年計畫で世界の無錢視察旅行を企て其第一行程として東洋各地を歴訪すべく今回は四月下旬より本縣に入り若松、福島、郡山等より十二日喜多方を経て昨夜平町に來り本日各官廳を歴訪したが今

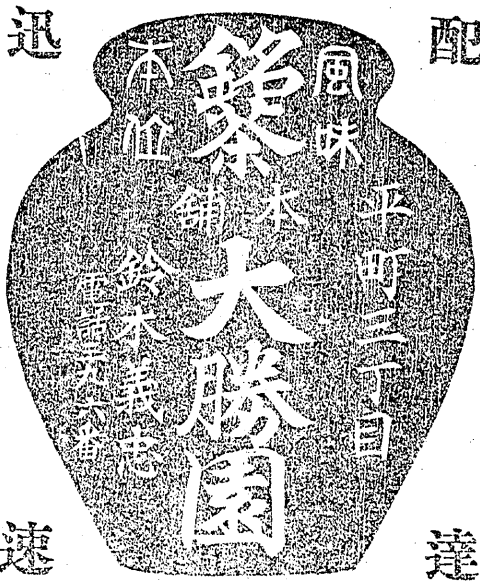
防砂堤の 効果がなく 潜水夫を雇ふ

潜水夫を雇ふ

小名濱港内第一防波堤と鮮

夕浪江、原ノ町方面へ出發するとの事である

魚引揚場との間が年々流砂堆積して船舶の出入に困難を感じるので縣當局は昨年防波堤を増築し流砂を防いたが更に潜水夫を雇つて土砂の浚渫を行ふことになり十一日から工事に着手した



本場新茶走賣初メ申候
一斤 一圓五十錢
花壺新入着

